

会 議 要 録

名 称	令和 8 年度第 1 回卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業 評価監視委員会	
事 務 局	西予市政策企画部まちづくり推進課 地域振興係	
	電 話 0894-62-6403	
開 催 日 時	令和 8 年 8 月 4 日(火) 10 : 30 ～ 11 : 20	
開 催 場 所	西予市役所 5 階大会議室	
出席者	委 員	宇都宮明彦（委員長：副市長）、羽鳥剛史（副委員長：愛媛大学）原井川英一（政策企画部長）、兵頭章夫（産業部長）、安岡克敏（建設部長）、佐藤陽一郎（まちづくり推進課長）、兵頭学（西予市議員）、山下昌和（西予市議員）、宇都宮久見子（西予市議員）
	説明員 (SPC)	株式会社 西予まちづくりサービス、株式会社 四電工 ラソンプレ株式会社、株式会社 上田、南海測量設計 株式会社
	事務局	産業部経済振興課 清家補佐 政策企画部まちづくり推進課 玉岡係長、上甲主査
議事内容（要旨）		
委員長	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 協議事項 （1）2025年度評価監視委員会での質問について （2）ソフト事業について （3）ゆるりあんの運営状況について （4）空き家対策事業について （5）アンケートについて （6）維持管理業務について	
SPC	資料に基づき一括説明。	
委員	アンケート結果の公表状況はどうなっているのか。	
SPC	現状公開していない。HP での公表を検討する。	

委員	チャレンジショップについて、今回市外への出店という事例が生じてしまったということであるが、出店者との契約関係はどうなっているのか。
SPC	当初は市内での出店を検討していたが、市内で条件に合う物件が見つからず、市外施設において安価で賃借できる物件があったため、そこに出店するに至った経緯である。なお、募集要項においては、市内での出店を促す旨を記載している。
委員	先日の発表で西予市の空き家率が約 24%ということで、県内トップクラスとなっている。この状況を逆手に取り、移住や子育て政策につなげていきたい。空き家対策事業において、成約に至った事例もあるとのことなので、今後も情報共有しながら、連携して対策を行ってきたい。
委員	カーシェア事業について、ご協力に感謝する。西予市では、公共交通が不足しており、観光に来た際にも 2 次交通が課題となっていたところ。今後の進展に期待したい。
委員	手荷物預かりサービスの際に、目的地の確認を行うなど、コミュニケーションをとってみてはどうか。
SPC	ラソンプレ事務所で対応しているのは土曜日のみだが、積極的な声掛けを心がけており、併せて観光案内も実施している。平日対応を行うどんぶり館の状況は把握していないが、いただいた意見はお伝えするようにしたい。
委員	空き家対策事業に係る斡旋状況の中で、はちのじエリアでの実績は？
SPC	対象エリア外の物件が含まれている可能性はあるが、卯之町で 5 件となっている
委員	アンケートについて、斡旋事業の活用意向を示す回答者が非常に多い印象を受けたが、どの範囲で実施されているのか。

SPC	Web でもアンケートを実施しており、回答者の市内外の割合は資料のとおりだが、それ以上の詳細は不明。選択肢の中で「活用してみたいサービス」として選択された結果である。
委員	日常的なエリア内の回遊状況について、当該事業の実施により増えているのか。
SPC	事務所でも、町並みへの観光について問い合わせを多くいただいている。飲食店も含めて、滞在できるように紹介しており、駅前から街中への流れは増えてきているのではないかと考えている。
委員	カーシェアの利用状況について、把握されていればお伺いしたい。
SPC	具体的な利用実績データの提供は受けていないが、車両の稼働状況から一定の利用はあると認識している。今後も周知等の面で協力していきたい。
事務局	4. その他 (1) サービス対価改定に伴う契約について
	資料に基づき説明。
	P F I 事業として、これまで実施されてきたところでの、問題点や課題についてお伺いしたい。また、令和 13 年度までの展望と 13 年度以降については、どのように考えられているか。
SPC	人を集めるという最大のテーマに向けて、まずはソフト事業の面から回遊性の向上に努めていきたい。13 年度以降については、市の方向性によるものと考えている。特定事業完了後は SPC としては解散となる。
副委員長	5. 閉会挨拶
備 考	